

感じてほしい、和紙の魅力 「紙漉き体験」参加者募集

国営アルプスあづみの公園【大町・松川地区】では、8月30日（土）・31（日）に「紙漉き体験」を開催します。大町市の伝統工芸「信州松崎和紙」の協力による紙漉き体験イベント。職人の丁寧なレクチャーのもと、オリジナルのハガキづくりに挑戦いただけます。初めての方や親子連れも安心して参加でき、伝統の技と自然の素材に触れる貴重な機会です。



作品のイメージ（2023年6月4日撮影）

◆世界に1枚のハガキづくり

ハガキ判の大きさの枠を使用して紙漉きを体験。木の葉や花、糸などを紙にすき込んだり、様々な色の原料を使って、自分だけのオリジナルのハガキを作ります。色鮮やかで味わい深い作品は、記念品として手元に残しても、季節の便りとして誰かに送っても喜ばれる、心のこもった一枚になります。

■開催日／8月30日（土）・31日（日）

■時 間／①10:00～ ②11:00～ ③13:00～ ④14:00～ ⑤15:00～

■場 所／休憩棟レストラン テラス席

■参加費／500円（別途入園料必要）

■定 員／各回10名（事前申込）

■協 力／信州松崎和紙工業



イベント開催状況（2024/6/15）

◆松崎和紙の歴史

松崎和紙は長久3年（1042年）、仁科神明宮の祭礼用に神社の奉仕人が製造したのが始まりとされています。その後、紙すき技術は一般農家に広まり、高瀬川の良質な水や豊富な原料と相まって発展し、特産品として利用されました。洋紙の普及などで生産者は減少しましたが、今でもその伝統は守られています。

◆松崎和紙の特長

松崎和紙はコウゾ（クワ科コウゾ属の植物）を主原料に、伝統技法と独自処理の木の葉をすき込み、和紙本来の風合いと自然の温かみを引き出します。手作りならではの強さとやわらかさが特長。従来の障子紙や文房具に加え、日用品・インテリアなど身近な和紙製品として使用されています。



紙漉き（2023/6/4）

Information

大人気「マウンテンバイクパーク」
8/24（日）まで平日も毎日利用可！

お問い合わせ

アルプスあづみの公園管理センター 大町・松川地区 企画運営担当：足立・尾澤
〒398-0004 長野県大町市常盤 7791-4 TEL:0261-21-1212 FAX:0261-21-1214
https://www.azumino-koen.jp/oomachi_matsukawa/ 公園公式SNSもご覧ください

X

Instagram

Facebook